



中山観音・清荒神 初詣ハイキング活動記録

担当：2班

山歩きも織り込んだ初詣ハイキングで、お正月の間になまった体に活を入れた。(約8km)

実施日：平成30年1月12日(金) 54名参加

集合：中山寺 信徒会館前広場(最寄駅：阪急 中山観音駅) 10時

行程：中山寺 ⇒ 奥之院 ⇒ やすらぎ広場(昼食) ⇒ 清荒神(解散14時) ⇒ 阪急 清荒神駅

(中山寺は西国三十三カ所の札所、安産の観音様。最近五重塔及び大師堂が本堂の後ろに建立された。清荒神清澄寺は かまどの神様。摂津国八十八カ所第72番)

植物観察：クヌギが少し混じったアベマキの落葉を踏みしめながら登り、コシダの繁みをかき分けての下山、中山観音から清荒神への植生は豊かだった。

イノモトソウ、ツワブキ、ナキリスゲ、コシダ、コバノミツバツツジ、ヒサカキ、マツ、ソヨゴ、リョウブ、ネズミサシ、ウバメガシ、コナラ、アセビ、モチノキ、ヤマモモ、コウヤボウキ、モチツツジ、ネジキ、アラカシ、イヌツゲ、ウラジロ、ヤマコウバシ、ユズリハ、ヒメヤシャブシ、モミジ、サルスベリ、イチョウ

所感：寒気が居座り厳しい寒さの続くなか、防寒対策万全で中山観音に集合。寒いけれど冬の澄み渡った青空と凜とした空気の中、元気に出発しました。

落ち葉を踏みしめ、所々霜柱や氷の張った奥社への参道は、並んでは歩けない細い山道で、お喋りもいつもより少なく、その分歩くのははかどったようです。

やすらぎ広場での昼食は広々とした陽だまりで風も無く、ゆったりできました。

下りはしばらく車道を歩いた後、また細い山道に入り、急なところもありましたが、寒さのせいペースは速く、一部遅れていたグループも休むことなく歩いてゴールの清荒神には予定よりずいぶん早く到着しました。

天候にも恵まれ、心地よい疲れと清々しい気分を体感できました。



コース脇に雪



15丁石と暖かい毛糸の帽子をかぶっている石仏

中山寺五重塔：ネパールのシャカ族末裔から本物の仏舎利を授かり納めた

(裏面に続く)



改装なった中山寺 奥之院本堂



清荒神への下山道、少し南に目をやると御殿山住宅越しに宝塚の町や甲山が見える



ミヤマシキミ (深山檜)

ミカン科ミヤマシキミ属の常緑低木。雌雄異株。蕾



常緑ガマズミ ビバーナム ティヌス

実に光沢、落葉種とは葉の様子が随分違って、厚くて葉脈は少ししかありません。



清荒神本堂

正面には本尊大日如来、向かって左に不動明王、右に弘法大師が祀られています。



清荒神参道の屋台。昔懐かしいものが並ぶ